

茎数少ない！浅水管理で分けつ促進！ 今後は高温の予報！水交換で早めのワキ対策を！

移植後の強風や低温の影響で、葉色はやや淡く葉齢及び茎数が少ない状況です。この時期に発生する分けつは、やがて穂となる有効茎です。茎数不足の圃場では、分けつ促進が最重点事項です。6月中の有効茎数確保に向け、2～3cmの浅水管理を徹底しましょう。

生育状況（6月10日現在、西置賜農業技術普及課生育診断圃）

平坦部「はえぬき」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	29.4	97	やや短い
茎数(本/m ²)	168	82	少ない
葉数(枚)	6.2	-0.5	少ない
葉色(SPAD)	33.4	-2.6	やや淡い

「つや姫」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	28.8	94	短い
茎数(本/m ²)	196	86	少ない
葉数(枚)	6.2	-0.7	やや少ない
葉色(SPAD)	33.8	-2.8	やや淡い

「雪若丸」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	25.1	89	短い
茎数(本/m ²)	226	75	少ない
葉数(枚)	6.8	-0.4	やや少ない
葉色(SPAD)	33.7	-6.5	淡い

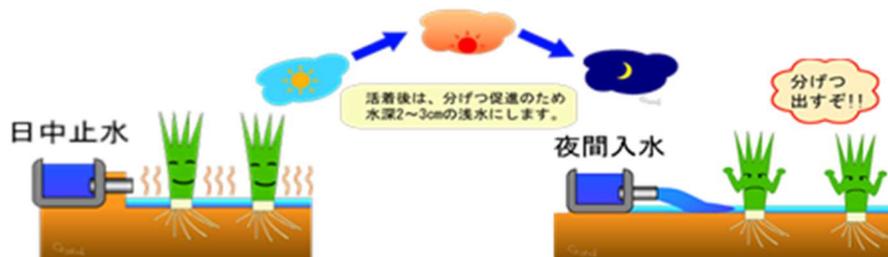
— 1か月予報（6月6日 仙台管区気象台 発表）
 気温：6/8～6/14：高い見込み
 6/15～6/21：高い見込み
 6/22～7/5：平年並か高い見込み
 降水量：多い見込み
 日照時間：平年並の見込み

今すぐほ場を確認！

茎数不足の圃場は浅水管理を徹底！土壌還元（ワキ）発生の場合はすぐ水交換！

分けつを促進する水管理のポイントは以下の2つ！

- ①浅水管理（水深2～3cm） ②昼間止水・夜間かんがい



○向こう1か月は高温になる見込みで、土壌還元が進むことが懸念されます。

夜間落水などで根圏環境の改善に努めるとともに、**土壌還元（ワキ）がみられるほ場では、速やかに水交換や一時的な落水（2～3日の田干し）**を行います。

○今年は藻類の発生が多く見られます。藻が多発していると、圃場の水温・地温が上がりやすくなるため、水交換や田干しを行って、発生を抑えましょう。

有効茎数確保後は速やかに作溝・中干し！（6月25日には中干し開始）

- ほ場ごとの生育のばらつきが大きくなっています。ほ場ごとに生育状況を確認し**有効茎数を確保したほ場から遅れずに作溝・中干しを行いましょ**う。
- 作溝は作土が「ようかん状」の硬さで行い、作土がしまってから再度実施すると作溝の効果が高まります。
- 中干しの目安はほ場に小ヒビが入る程度**です。葉色や生育量に応じて中干しの強度（乾き具合）を調節します。
- 中干し後は、走り水で飽水管理をした後、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替えます。

品種別の目標茎数の目安（本/株）

品種	1株当たりの目標茎数	
	70株/坪植えの場合	
はえぬき	23本	
つや姫	20本	
雪若丸	27本	
ひとめぼれ	24本	
あきたこまち	22本	
	60株/坪	70株/坪
コシヒカリ	23本	20本

作溝の効果：間断かんがいの効率化 → 根の活力維持、地耐力の向上
作溝は、高温時の水管理“飽水管理”にも有効

中干しの効果：無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向
ト

今すぐ取り置き苗は処分！

- 梅雨に入ると、いもち苗の感染に好適な日が増加します。**補植用取り置き苗は、葉いもちの感染源となります。早急に処分しましょ**う。
- 箱施用剤による葉いもちの防除を行っていない場合は、**6月20日までに遅れず本田施用剤（粒剤等）を散布**しましょ



葉いもちの病斑

斑点米カメムシ類やや多い！（県病害虫防除所発生予察情報）

- 畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行い、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょ
- 水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生源になります。残草対策もしっかり行いましょ



アカヒゲホソミドリカスミカメ

アカスジカスミカメ

農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故ゼロへ！

こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった無理のない作業を心掛けましょ

山形県農薬危害防止運動 実施中！ 農薬を使用した際はしっかり記帳！

農薬を使用する際には、使用基準を再確認し正しく使いましょ